

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(753)6930
担当部課名	生涯学習部	スポーツ	課	管理 係
事務事業名	洲野辺公園運動施設管理運営費		事業コード	15220

1 総合計画における位置づけ

政策名	第5章	いきいきとした生涯学習社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第2節	生涯スポーツ・レクリエーションの振興	~63 年度
施策名	第2施策	スポーツ・レクリエーション施設の整備	

2 実施根拠及び関連法令等

スポーツ振興法、相模原市スポーツ振興計画、相模原市都市公園条例及び同施行規則

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
スポーツを通じた市民の健康増進と生涯スポーツの振興を図るため、良好な施設環境を維持することを目的として、施設管理業務を行う。		ひばり球場	
		対象数	1面
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
維持管理業務を(財)相模原市都市整備公社に委託 ひばり球場利用者数 21,239人 収入 1,655,825円		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度

4 評価指標

指標名	ひばり球場利用率		
指標式	$\frac{(\text{申込みコマ数}-\text{雨天中止コマ数})}{(\text{申込み可能コマ数}-\text{雨天中止コマ数})} \times 100$		
指標設定の意図	利用人員の比較では実態がつかめないため、実利用コマ数で比較する		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	50.4	36.4	a 39.5	b 40.0	40.0	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	67,523	77,346	98,851	101,927	66,893
	人員・時間数	0.5人・年	0.5人・年	0.5人・年	0.5人・年	0.5人・年
	人件費	4,210	4,210	4,210	4,210	4,210
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	71,733	81,556	103,061	106,137	71,103
特定財源	13,132	14,142	14,496	13,528	13,528	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 C ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 =
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	

$\frac{a}{b} \times 100 =$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
----------------------------	----------------------------	----------------------------

理由： 高度な大会の誘致は平成12年度より実績が無く、市民のスポーツ振興のためにも積極的に誘致に取り組む必要がある。

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由： 市民のスポーツへの関心は益々高まっており、スポーツを行うことのみならず、高度な大会等を観戦することによりその意識の高揚及び競技力の向上の一助となると考える。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A : 妥当である	理由： 補助金の額等は妥当と思うが、大会誘致の実績が少ないため、未執行となる場合が多い。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由： 本市スポーツ振興を積極的に行う立場として、市が行うことは適当と思う。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 C ▼	A : 満足できる	理由： 大会誘致実績が無い状況下では、満足など得られない。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由： 市民のスポーツへの関心は益々高まっており、スポーツを行うことのみならず、高度な大会等を観戦することによりその意識の高揚及び競技力の向上の一助となり、本市スポーツ振興のためには重要な事業である。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	成果向上の余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明： 補助金制度について更に各種目協会に周知するとともに、施設での受入態勢を強化する。
	コスト改善余地	
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	説明： 実績の無い状況下では、コスト改善の判断が不能である。

7 総合評価

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較	県内一部市町村が実施しているが、補助金交付基準の区分、金額等も概ね同様である。								
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2">今後の進め方</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>継続</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>見直し</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>廃止</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>完了</td> </tr> </table>	今後の進め方		<input checked="" type="checkbox"/>	継続	<input type="checkbox"/>	見直し	<input type="checkbox"/>	廃止
今後の進め方										
<input checked="" type="checkbox"/>	継続									
<input type="checkbox"/>	見直し									
<input type="checkbox"/>	廃止									
<input type="checkbox"/>	完了									
説明		本事業は、近年誘致実績が少ない点が大きな問題であるが、主催側と誘致側との大会会場としてのニーズが合致しないと誘致できないため、本市としては、各種目協会等に積極的協力を求めるとともに、大会会場としてふさわしい環境づくりにも努めていく。								

8 二次評価における変更点

--